

参議院議員

足立 敏之



年明けの1月1日、能登半島地震が発生しました。それからほぼ1ヶ月になる1月31日(水)、今回の地震で被災した富山県氷見市、石川県七尾市、穴水町に伺い被災状況を調査しました。続いて、ほぼ2ヶ月になる2月26日(月)～27日(火)、石川県輪島市、羽咋市、志賀町、珠洲市、能登町に伺い被災状況を調査しました。さらに、2ヶ月半となる3月15日(金)、特に液状化の被害が大きかった石川県内灘町、かほく市に伺い、被災状況を調査しました。

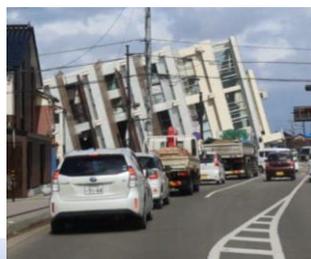
氷見市 地盤の液状化が原因で北大町地区などで多くの商店や家屋が倒壊しており、どのように再建するのが大きな課題と考えられます。北部の姿地区では地震動により多数の一軒家が倒壊しており、被害の大きさに驚きました。

七尾市 市街地の家屋倒壊状況を確認した後、能登島との間に架かる全長1050mの能登島大橋に伺い、段差解消の措置により何とか通行を確保している状況を確認しました。次に、和倉温泉に伺い、海岸護岸が被災している状況を確認しました。なお、有名な温泉旅館の建物が地震動と液状化により大きな被害を受け、復旧には相当程度時間がかかるように見えました。



「のと里山海道」盛土箇所が随所で大きく崩落するなど深刻な被害を受けており、大胆な切り替えを行ったり、新たに迂回路を整備することで片側のみの通行が確保されていました。「のと里山海道」については、高規格道路並みに構造的強化を図ることが必要であると考えます。

穴水町 中心街の内浦街道沿いの被災状況を確認しましたが、建物倒壊の深刻さを感じました。土砂災害で16名がお亡くなりになった由比ヶ丘地区にも伺いましたが、悲惨さに声も出ない状況でした。



輪島市 市内中央通りのビル倒壊現場をはじめ市街地の被災状況を確認させていただき、建物被害の深刻さに驚きました。続いて、地震後に大火に見舞われた朝市通り周辺の被災現場に伺いましたが、300戸を超える家屋が、まるで爆撃を受けたかのように焼け焦げ変わり果てた状況に愕然としました。もとのたたずまいを感じることができる街並みの再生に全力で頑張らないといけない、そう決意を新たにしました。

次に、隣接する漁港の被災状況を確認しましたが、4m近い海岸の隆起により漁港が使えない状況で、漁港自体の移転が必要と考えられました。



その後、方行不明者の捜索活動が続いている輪島市南部の市ノ瀬地区の大規模土砂災害現場に伺いました。山頂付近から大規模な土砂崩落を起こし、河道閉塞も発生し、国による復旧作業が行われていました。



輪島市門前町 覆工コンクリートが崩落して通行止めとなっている中屋トンネルを調査するとともに、町内の家屋の倒壊現場、回廊などが倒壊した總持寺祖院、鹿磯・黒島漁港の海岸の隆起状況などを調査させていただきました。海岸の隆起は顕著で、港としての機能を失っている箇所も多数ありました。



珠洲市 覆工コンクリートが崩落した国道249号大谷トンネルの被災状況を確認し、続いて、大谷トンネルの海側に位置する国道249号烏川大橋（大谷ループ橋）の被災状況を視察しました。橋梁本体に大きな損傷は見られませんが、東側のアバット部が崩落していました。



次に、飯田港付近の地震津波による被災現場や南部の珠洲市宝立町の被災現場を訪れました。津波は防波堤を乗り越えて襲ってきたようで、海側の家屋は津波により流失したり残骸となっており、周辺部でもほとんどの家屋が地震と津波による深刻な被害を受けていました。



続いて、東部沿岸部の三崎町寺家地区に伺いました。この地区では海沿いの多くの住宅が津波の被害を受けましたが、私が国土交通省水管理・国土保全局長の時に着手した日本海の地震・津波の調査検討結果を踏まえて作成されたハザードマップによって毎年欠かさず避難訓練が行われており、今回の津波の際にも犠牲者は出なかったとのことでした。



能登町 白丸地区の津波と火災の被災現場を確認しましたが、海岸堤防のない白丸地区では地震が発生してから2度にわたって最大5mほどの高さの津波が押し寄せ、沿岸部の家屋が大きな被害を受けていました。また地震、津波だけにとどまらず、大規模な火災も発生して深刻な被害が発生していました。

内灘町、かほく市 河北潟干拓地を囲う堤防が最大2m以上沈下した地点に伺いましたが、基礎地盤が流動化して堤防が大きく沈下していました。

また、内灘町西荒屋地区からかほく市大崎地区にかけて砂丘と河北潟に挟まれた県道沿いでは、地震による液状化で、住宅や建物、神社等が地面にめり込んだり、傾いて被災しており、道路は波打ち電柱が倒れかかっている厳しい状況でした。



能登半島地震からの復興に向けて、今後取り組むべき施策としては、①「のと里山海道」や珠洲道路の高規格化など災害に強い道路づくり、②輪島市など街並みの再生にあたってかつてのたたずまいを残した街並みの再生と家屋の耐震化の徹底、③地震により隆起して機能を喪失した港湾や漁港の機能回復、④津波からの防御のための防波堤等の施設整備、⑤一部損壊等も対象とした住宅再建支援、⑥広範囲の液状化による被害からの地域の復旧・復興などが必要と考えます。